

国立民族学博物館・五木村共催「佐々木高明の見た焼畑—五木村から世界へ—」関連企画

公開セミナー

なぜ、いま、焼畑なのか

『佐々木高明の見た焼畑—五木村から世界へ—』展から考える



村人と学生と佐々木高明氏

五木村歴史文化交流館「ヒストリアテラス五木谷」にて開催中の『佐々木高明の見た焼畑—五木村から世界へ—』(2020年11月29日(日)まで)に関連して、公開セミナーを開催します。1958～60年に五木村で調査を行った焼畑研究の第一人者・佐々木高明氏の研究成果を通して、焼畑文化の意義や私たちの今後の在り方について、一緒に考えてみませんか。なお、各回とも当日13時より展示解説を行います。



■全体コーディネート
池谷 和信

(国立民族学博物館・総合研究大学院大学教授)

定員
各回とも
15名
(要申込)

2020年
10/17 土

人びとのくらしと焼畑
—日本文化の多様性を探る—

14:00～16:00



川野 和昭 前田 一洋

- 佐々木氏の写真の意味すること
池谷 和信(国立民族学博物館・総合研究大学院大学教授)
- 焼畑民の心を語る
川野 和昭(元鹿児島県歴史・美術センター黎明館学芸員)
- 地名からみた焼畑地帯の暮らし
前田 一洋(肥後考古学会会員)

2020年
10/25 日

焼畑は、いつ、どのように始まったのか？
—稲作以前の農民像を探る—

14:00～16:00



藤尾 慎一郎 福原 博信

- 村の『歴史』を再考する
池谷 和信(国立民族学博物館・総合研究大学院大学教授)
- 先史時代の日本列島における最初の畑作民
藤尾 慎一郎(国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学教授)
- 五木村の縄文と弥生
福原 博信(ヒストリアテラス五木谷副館長)

2020年
11/1 日

展示から見た地域社会
—五木村にとっての博物館の役割—

14:00～16:00



野林 厚志 木野 徹也

- 博物館の新たな役割を考える
池谷 和信(国立民族学博物館・総合研究大学院大学教授)
- 地域文化の継承と復興に博物館が果たす役割
野林 厚志(国立民族学博物館・総合研究大学院大学教授)
- ミュージアムからみた五木村の未来
木野 徹也(ヒストリアテラス五木谷館長)

2020年
11/15 日

焼畑と在来作物
—現代社会における食と農のあり方を考える—

14:00～16:00



江頭 宏昌 寺嶋 悠

- 日本の食の未来を考える
池谷 和信(国立民族学博物館・総合研究大学院大学教授)
- 日本列島における在来作物について
江頭 宏昌(山形大学農学部教授)
- 在来作物から見た五木村の食と生活文化
寺嶋 悠(五木郷土研究会会員)

会場

五木村歴史文化交流館「ヒストリアテラス五木谷」特別展示室

熊本県球磨郡五木村甲 2672 番地 58 TEL 0966-37-2121 FAX 0966-37-2888 <http://itsukidani.com/>

申込方法 ○オンライン申込み

左のQRコードを読み込むか、<https://forms.gle/5jUhS2LT0Sodrp3Z6>より、お申し込みフォームにご記入ください。



申込みフォーム

○FAX申込み

ヒストリアテラス五木谷 (FAX 0966-37-2888) に①参加希望日
②お名前③ご住所④電話番号をお知らせください。

参加費

ヒストリアテラス五木谷の入場料が必要になります。
大人 300 円／小中学生 200 円

主催

国立民族学博物館 五木村

※本セミナーは人間文化研究機構・北東アジア地域研究(民博拠点)の支援により開催します